

令和5年度学校自己評価システムシート (県立深谷第一高等学校)

| | |
|--------|---|
| 目指す学校像 | 1 広い視野を持ち、自ら学び続ける意欲と態度を持った人間を育成する。 2 文化やスポーツを愛し、人と人との絆を大切に作る人間を育成する。 |
|--------|---|

| | |
|------|---|
| 重点目標 | 1 高い志を育み、授業研究を推進し、学習指導の充実を図り、高い学力を身に付けさせる。 2 キャリア意識の向上と目標に向かって最大限の努力を促す進路指導を推進する。 3 社会の一員としての自覚と責任感、規律ある態度を育成する。 4 地域との連携や外部教育力の活用を通じ、教育活動を更に充実する。 |
|------|---|

| | | |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上) |
| | B | 概ね達成(6割以上) |
| | C | 変化の兆し(4割以上) |
| | D | 不十分(4割未満) |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

| | | |
|-----|----------|---|
| 出席者 | 学校関係者 | 名 |
| | 生徒 | 名 |
| | 事務局(教職員) | 名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | | |
|-------------|--|---|---|--|-----------|-----|
| 年 度 目 標 | | | | 年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在) | | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 |
| 1 | 【現状】 ICT機器の活用環境が整い、教科指導や各種連絡の手段としての活用が進んでいる。 【課題】 情報リテラシーやマナーの指導を充実させる必要がある。また生徒の家庭学習の習慣は身に付きつつあるが、自己学習時間があまり伸びていない。学習することの必要性を認識させる取組が必要である。 | 主体的・対話的で深い学びの実践(授業改善の推進) 自学自習の定着 | ①年次研修の研究授業や授業公開で深い学びの実践による指導力向上 ②定期考査を活用した指導の工夫 ③ICTを活用した授業の実践と活用方法の工夫と情報共有 ①教科・学年間の連携を深め、予習・復習の徹底と家庭学習時間の確保 ②教科の特色を生かした課題等の工夫 ③生徒のニーズに合わせた課外補習等の開設 ④必要な情報を自分で探し出す力の養成と支援 | ①年次研修や授業公開での授業研究と研修会の実施状況 ②定期考査後の振り返りの実施状況 ③ICT機器(PC・プロジェクター・タブレット等)の授業での活用状況と活用方法の多様性 ①自己学習時間の増加 ②プリント学習(課題)の増加 ③補習日の設定と課外講座等への参加人数の増加 ④図書館、掲示板、情報端末等の活用状況 | | |
| 2 | 【現状】 e-ポートフォリオの活用により生徒一人ひとりの目標が可視化され明確になり、これを側面から支援する取り組みも充実してきている。 【課題】 人生設計としての生徒の進路への関心・意欲を向上させる活動の工夫が必要である。特に一般受験クラス生徒の実力向上が必要である。 | キャリア教育の推進 生徒の主体的な進路活動 | ①入試改革に対応する3年間を見通したキャリア教育の実施 ②ガイダンス機能の充実 ③ホームページや進路だよりによる保護者への情報提供 ①個別の進路相談、面接指導の充実 ②一般受験クラス生の受験意識の向上 ③「総合的な探究の時間」を利用した外部教育力の活用と探究する力や論理力の向上 | ①スタディサポート・進路の手引きの活用によるキャリア教育の視点で進路指導計画策定、進路指導の実施 ②分野別ガイダンスや卒業生の進路体験発表会等の企画・実施 ③ホームページや進路だよりの閲覧等、保護者への情報の浸透状況 ①進路相談、面接指導の充実による現役進路決定率の向上 ②一般受験クラスの一般受験生の増加 ③e-ポートフォリオと連鎖した事後の振り返りによる生徒の意識の変容 | | |
| 3 | 【現状】 部活動が本校の教育活動の1つの柱となっており、保護者の満足度も高い。活動を通しての社会性も育ちつつある。 【課題】 自転車運転マナーの向上や生徒主体の「ネット利用ルール」の活用等、生徒の規範意識を向上させる。効果的かつ活動方針に則った部活動指導を工夫する必要がある。 | 部活動等の活性化 規範意識の向上 | ①生徒が理解して取り組む部活動指導 ②体験入部の工夫・改善 ③学校行事の充実と発展 ①自転車運転マナーの部活動も含めた組織的指導 ②スマホの適切な使用時間管理 ③制服の検討 | ①1年生全員加入と定着率の増加 ②部活動体験の実施回数・人数 ③生徒による文化祭等の自主的運営状況 ①登下校時のマナーアップの状況 ②生徒主体による「ネット利用ルール」への取組状況 ③生徒・保護者等の理解を得た制服の検討 | | |
| 4 | 【現状】 ホームページのアクセスは横這いだが、本校からの情報の発信は充実している。生徒が実際に地域に出ていく機会が減少している。 【課題】 外部の教育力を活用し、生徒の視野を広げる。また、学校説明会や中学校訪問に検討を加え、安定した生徒募集につなげる。 安定した教育活動を維持するため、教職員の働き方改革を引き続き推進する。 | 組織的な広報活動と生徒募集の充実 地域との交流及び校内外の美化の促進 働き方改革の推進 | ①学校内外の説明会の実施と方法の工夫 ②組織的な情報発信及び発信許可者の増加 ③保護者アンケートの継続実施 ④深一メールの登録促進 ①地域交流活動への積極的参加 ②PTA・生徒会主導による学校内外の美化活動の推進 ③協定校との連携強化 ④勤務の効率化と電子化に向けたデータ共有 | ①学校説明会・個別相談会参加者の本校に対する理解の変化 ②ホームページを更新した教員数やGoogleClassroomの活用状況 ③保護者アンケートの実施・集計・報告 ④深一メールの登録件数 ①地元小・中学校等との交流や深谷市関連行事への参加人数 ②生徒・PTAによる美化活動の実施状況 ③協定校との連携事業実施状況 ④超過勤務時間の減少と休暇の取得状況 ④紙の購入費用の減少 | | |

| 学 校 関 係 者 評 価 | |
|-------------------|----------|
| 実施日 | 令和 年 月 日 |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | |
| | |